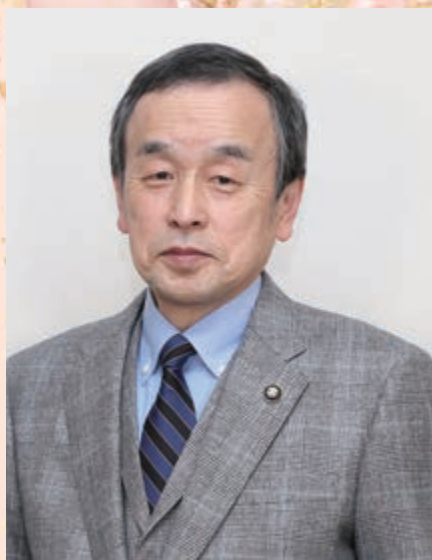


新年のごあいさつ



大府市長
岡村 秀人

明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春を迎えられたことと、お喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止や延期となっていた産業文化まつりや大府シティ健康マラソン大会をはじめとした行事が3年ぶりに開催され、皆さまの笑顔に接し、ポストコロナ・ウィズコロナ時代にふさわしいまちづくりを推進していくことの必要性を改めて実感いたしました。

経済対策としては、市民生活を守り抜くため、燃料価格・物価高騰に対する緊急支援として、独自に「水道料金の基本料金の半年間無償化」「プレミアム付商品券の販売」「子どものための臨時特別給付金の交付」など、さまざまな施策を迅速に実施してまいりました。引き続き感染症対策に努めながら、社会経済活動との両立を目指し、必要な施策を展開してまいります。

うれしい出来事としては、8月に本市にとつて長年の悲願でありました警察署の設置に向けての検討を開始する旨の大村秀章愛知県知事の表明があり、9月の県議会において、候補地の

調査を行うための補正予算案が可決されたことです。市は、新警察署の候補地を県に提案するとともに、建設を推進するためのプロジェクトチームを立ち上げ、県に全面的に協力する体制を整えております。「大府警察署(仮称)を新設し、警察力を増強すること、安心安全なまちづくりをさらに推進したい」と決意を新たにしております。

文化面では、日本のバイオリン王・鈴木政吉が創業した日本を代表する弦楽器メーカー「鈴木バイオリン製造(株)」の本社が本市に移転したことを契機に、鈴木政吉が描いた「バイオリンの里」の実現に向けて、昨年からは市内小学校でのバイオリン授業、大府みどり公園での野外コンサートなど、バイオリン関連の新事業を実施しております。引き続き市内外にバイオリンの音色を届け、音楽のあふれるまちづくりを進め、新たな地域文化の創出に努めてまいります。

本年も「日本二元気な健康都市」の実現を目指し、持続可能なまちづくりに懸命に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。本年が皆さまにとつて、希望と喜びに満ちた良い年になりますようご祈念申し上げ、新年のごあいさついたします。

明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと、謹んでお喜び申し上げます。

昨年、新型コロナウイルスの感染拡大の波が繰り返される1年となりました。コロナ禍だけでなく、円安や物価の高騰が皆さまの家計に大きく影響を及ぼす中、市議会といたしましては、皆さまに寄り添った取り組みをいち早くお届けするため、本市の施策を強く後押ししてまいりました。

これまで中止せざるを得なかったイベントや事業などを3年ぶりに実施することができ、新たな一歩を踏み出すことができた1年でもありました。産業文化まつりや大府シティ健康マラソン大会などの開催では、にぎわいが見られ、岩手県遠野市への小学生訪問団の派遣や、愛媛県新居浜市への小学生バドミントン交流大会の選手団の派遣などの都市間交流では、友好と親睦を再開することができました。

ウィズコロナ時代へと変わりゆく中、市民・企業・地域・諸団体の活動が活発になりつつあり、まちが元氣を取り戻してきておりますことを大変喜ばしく思っています。

さて、昨年の新たな話題としましては、硬式野球が可能な大府市民球場の利用開始が挙げられます。現在も皆さまのために、充実した施設となるよう準備を進めており、本市がますますスポーツの盛んなまちになることを期待するばかりです。

警察署の本市への誘致については、県が検討を始めることを発表するといった、大きな前進がありました。市議会としても長年にわたり陳情活動を続けてきましたので、大変喜ばしく、引き続き早期設置に向けて尽力する決意を新たにしているところです。

私たち市議会といたしましては、引き続き市民の皆さまの健康と暮らしを全力で守るべく、議会としての役割を果たすとともに、議員1丸となって健全な議会運営に努め、より身近で、開かれた市議会となるよう、さらに尽力してまいります。

結びに当たりまして、皆さまにとつて、本年がさらなる飛躍の年でありますよう、そして健やかで幸多き、明るい1年となりますよう、議員一同、心よりご祈念申し上げます。年頭のごあいさついたします。

大府市議会議長
早川 高光



本年もよろしくお願い申し上げます

令和五年 元旦